

情報連絡員報告総括表（令和3年8月分）

三重県中小企業団体中央会
 連絡員総数 40名
 回答数 40名（100%）

業界の景気動向（前年同月比）

	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>（臨時・パートを含む）</small>			業界景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
製 造 業	食料品		2	2	2	2		1	3			3	1			4		2	2		2	2		3	1			4
	繊維工業		1	2		2	1		3			3			3		2	1		2	1		2	1		1	2	
	木材・木製品	1					1	1		1			1				1		1				1		1			
	紙・紙加工品			2		1	1		2			2			1	1		2			1	1		2			1	1
	印刷		1			1			1						1			1			1			1			1	
	化学・ゴム																											
	窯業・土石製品	1	2			3			3			3			3			3			3			3			3	
	鉄鋼・金属	1				1			1			1			1			1		1			1		1			
	一般機器	1	1	1	1	1	1		3			3		1	1	1	1	2		2		1		3		1	1	1
	電気機器			1			1			1			1			1			1			1		1				1
	輸送機器			1			1		1			1			1			1		1					1		1	
その他																												
小計	4	7	9	3	11	6	2	17	1	1	17	2	2	8	10	1	15	4	5	9	6	1	16	3	3	8	9	
非 製 造 業	卸売業		2			1	1		2			2			1	1		2					2			1	1	
	小売業	1	1	4	1	4	1	2	4			5	1		2	4		2	4				6			2	4	
	商店街			1		1			1			1				1			1				1				1	
	サービス業	1	4					1	4			5			5			4	1				5			4	1	
	建設業	1	3						4			3	1		3	1		4					4			4		
	運輸業		1						1			1			1			1					1			1		
	その他	1							1			1			1			1						1	1			
小計	4	11	5	1	6	2	3	17			18	2		13	7		14	6				19	1	1	12	7		
合計	8	18	14	4	17	8	5	34	1	1	35	4	2	21	17	1	29	10	5	9	6	1	35	4	4	20	16	

最近の主要指標の前年同月比D I の推移

(令和2年8月～令和3年8月)

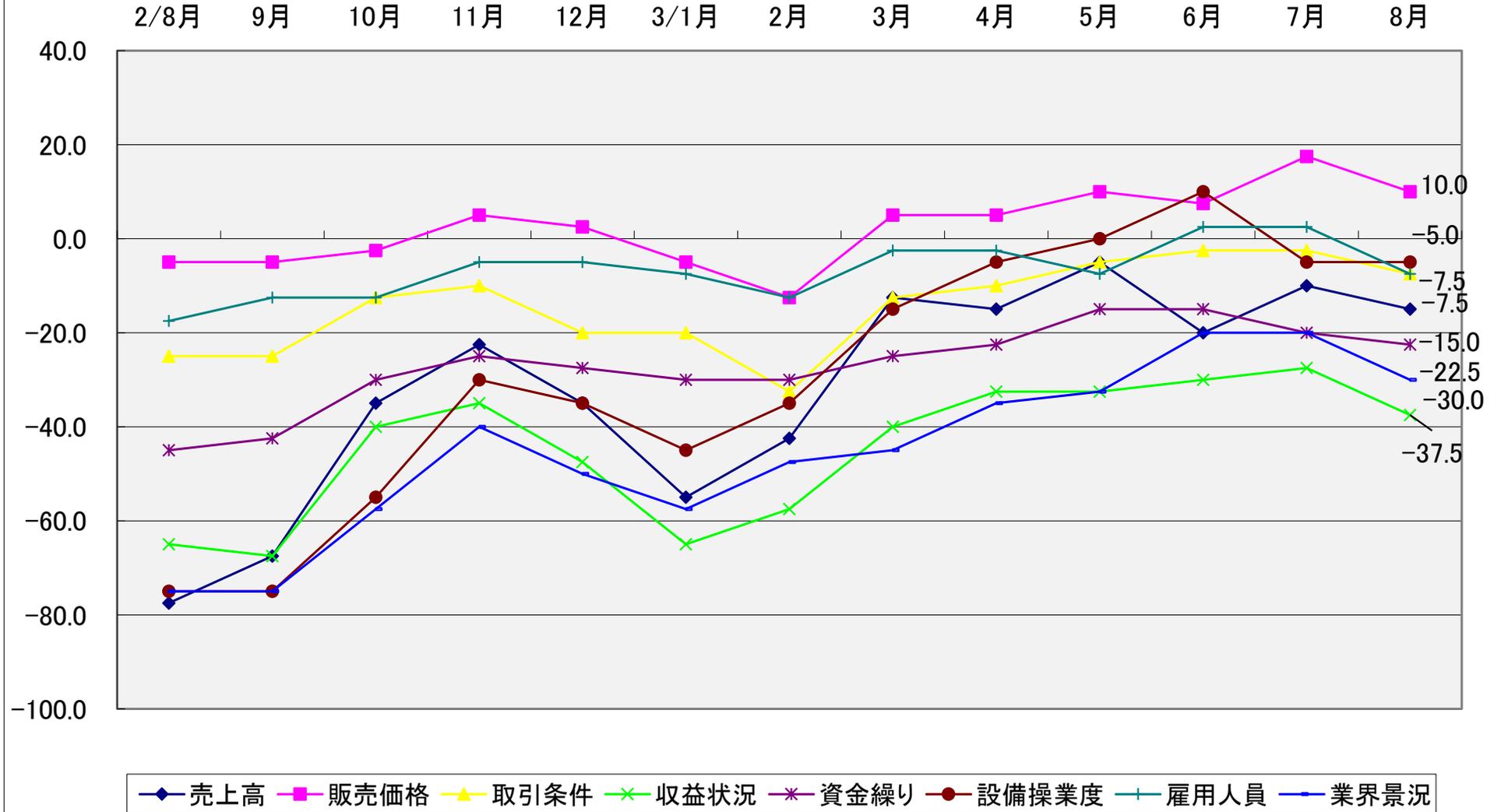
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	2/8月	9月	10月	11月	12月	3/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	増減
売上高	-77.5	-67.5	-35.0	-22.5	-35.0	-55.0	-42.5	-12.5	-15.0	-5.0	-20.0	-10.0	-15.0	-5.0
販売価格	-5.0	-5.0	-2.5	5.0	2.5	-5.0	-12.5	5.0	5.0	10.0	7.5	17.5	10.0	-7.5
取引条件	-25.0	-25.0	-12.5	-10.0	-20.0	-20.0	-32.5	-12.5	-10.0	-5.0	-2.5	-2.5	-7.5	-5.0
収益状況	-65.0	-67.5	-40.0	-35.0	-47.5	-65.0	-57.5	-40.0	-32.5	-32.5	-30.0	-27.5	-37.5	-10.0
資金繰り	-45.0	-42.5	-30.0	-25.0	-27.5	-30.0	-30.0	-25.0	-22.5	-15.0	-15.0	-20.0	-22.5	-2.5
設備操業度	-75.0	-75.0	-55.0	-30.0	-35.0	-45.0	-35.0	-15.0	-5.0	0.0	10.0	-5.0	-5.0	0.0
雇用人員	-17.5	-12.5	-12.5	-5.0	-5.0	-7.5	-12.5	-2.5	-2.5	-7.5	2.5	2.5	-7.5	-10.0
業界景況	-75.0	-75.0	-57.5	-40.0	-50.0	-57.5	-47.5	-45.0	-35.0	-32.5	-20.0	-20.0	-30.0	-10.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする
企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製 造 業	食料品	漬物	原料用野菜は順調な入荷となっているが、生産者の高齢化と後継者不足により、一部業者の中では、漬物原料野菜の供給不足は続いている。そのため伝統的な漬物においても原料不足のため、代替原料による新たな商品開発の試みが行われている。また、販売状況においても、コロナウイルスに関わる外出自粛の影響により、駅、土産物店等でお土産物の漬物の販売及び外食産業での需要が更に減少している。例年、9月上旬に全国漬物協同組合連合会が主催して行われる漬物製造管理者の試験は、今年度もコロナ禍の影響により中止となった。
		醤油味噌	コロナ禍で緊急事態宣言が発令され、国体も無くなり、客先の宿泊や弁当のキャンセル等があり、不景気である。会議も開けず、書面やりモートで実施している。明かりはまだ見えてこない。大豆や小麦等の原料高ではあるが、業界全体での値上げの動きは無い。
		豆腐	コロナ不況が続き、外食産業への納品の依存度が高い事業所は売り上げの減少が回復せず厳しい状況である。
		製麺	8月28日～9月12日まで緊急事態宣言が発令されて、商品の動きも停滞している。先を見据えていきたいと考えている。組合活動もほとんどできていないが、リモートを使用して活動を行っている。10月以降のイベント開催が懸念される。また、新たな助成金を活用していきたいと考えている。
	繊維工業	衣料縫製	コロナ感染拡大で販売数量が減る中、比例して生産数も落ち込んでいる。
	木材・木製品	木材	ウッドショックにより、国産材に対する需要は依然として旺盛で、前年同月比では原木、製品共に高値で推移している。
	紙・紙加工品	紙器段ボール	例年にない長雨やその後の猛暑などの天候不順で、それぞれの業界の需要も低迷した。車や電機関係も半導体不足で生産が計画通り進まないようである。相対的には5～10%売上が減少している。
		古紙	8月期の古紙仕入量は、段ボール・約98±7%、新聞、チラシ・約90±8%、雑誌・雑がみ、その他を合わせて約92±5%の模様である。オリンピックやパラリンピックの開催中でも豪雨被害や気化熱が原因か景気も高揚感も身の回りにはあまり感じる事はないが、業績の良い業種業界はある様である。新型コロナウイルスの変異種で緊急事態宣言となり、飲食店やサービス業・娯楽施設等の皆様もメニューや営業時間の変更・短縮等で大変であると思われる。アジア圏の紙・板紙業界の成長や紙の消費には伸びがある様で、古紙の輸出価格も先月より更に高騰している様である。国政がコロナの影響が原因は分からないが、地元の選挙も盛り上がり欠け、資源物回収所のゴミの不法投棄や古紙や古着の持ち去り行為も減ることはなく、会社経営や人の心を蝕んで行きそうである。
	印刷	印刷	コロナ禍で需要の減少が続く中、国体が開催されることに印刷需要を期待していた。多くの印刷物は、未完成の状態中止が決まり、実害の保障が検討される模様である。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産額は7月とほぼ同様であった。自動車関連部品、建築関連部品、ガス関連部品、電気関連部品においては、ほとんど全ての物が好調さを継続している。半導体関連部品は更に増加傾向にあり、人材不足は継続しており人材派遣に依存している。この状況は今年いっぱい続くと観測されている。
一般機器	四日市	総理が1年の短い任期で退任することになった。支持率30%台に低落していたのも事実だが、退陣のニュースが報じられた途端に株価が跳ね上がっている。不思議でならない。コロナの終息が年内に見られるのであろうか。我々組合員は個々の努力で生き延びて行くしかない。	
	津市	トヨタの工場で8～9月で生産調整のニュースがあったが、カンバンについては受注が減った。それ以外はまだ影響は無いが、昨年は2～3カ月遅れて影響があったため注意したい所である。8月は夏季休暇により7月に比べると売り上げは少なくなるが、減少は想定範囲内であったので、思ったよりは良い。	
	伊勢	県内での急激な新型コロナウイルスの感染拡大で、8月27日に三重県でも緊急事態宣言が出された。東京オリンピックが終わり、パラリンピックが始まったが、これも終われば海外からの人の移動も緩和されると思っていたが、経済活動が制限され、ますます先行きが心配である。	
電気機器	鳥羽	受発注が20～30%減少のまま、輪をかけて鋼材料費が1.6倍～1.8倍に高騰しており、仕入困難な状況になっている。見通しが立たない。	

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非 製 造 業	輸送機器	鈴鹿	需要増により長期化している半導体不足に加え、コロナウイルスの影響による海外からの部品供給不足のため、大手自動車メーカーの多くが夏季休暇を大幅に延長し、組立ラインの稼働が半減した。下期は生産数の挽回のため、忙しくなると聞いているが、実際には納入数のカットが続いており需要が読めない。二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を活用し、工業団地で共同で利用している排水浄化槽の老朽化した一部の装置を交換した。
		青果	(野菜前半) 北海道で高温、干ばつの影響でブロッコリー、ナス、きゅうり等の入荷が減少で高値がついている。ジャガイモ、玉葱は輸送の乱れで入荷が不安定である。 (野菜後半) トマト、ミニトマトは安値が続いている。長雨の影響で全体的に入荷が少なく、きゅうり、ナス、トマト、ミニトマトが高値である。キャベツ、レタスは順調に入荷しており、価格は昨年並である。 (果物前半) 愛知産ハウスみかん、長野産の桃はお盆需要で引き合いが強く、味は良いが高値である。地場産、久居香良洲の香水梨は昨年よりやや安い8月10日ごろからお盆用で値上がりした。 (果物後半) 久居、香良洲の香水梨は美味しく値段も安くなっている。りんご長野産サンつがるの入荷が始まりお手頃である。北海道産青肉メロンは甘味が強く、今が出荷ピークである。長野産の桃が雨の影響で値上がり、味は最適である。
		自転車	東京オリンピック開催もあり、ロードバイク、BMX等自転車に関心を寄せる人もあろうかと思いきや、学校の夏休み、部品入荷のストップした大手企業の長期夏休み、梅雨を思わせる長雨、コロナ感染率上昇等の影響により、人の流れは断ち切られた。お店に立ち寄るお客様も少なく、お盆明けの2学期が始まる頃にはある程度の商品、修理売上の期待もむなしく、この月を終えた。個人消費が低迷する中、上旬に中国工場出荷の商品、部品の値上げ通達があった。8月21日よりの仕入入荷分も10%~15%の値上げとなり、各メーカー卸店での企業努力だけでは無理な状況となっている。我々小売店もユーザーへの価格転嫁が進んでいない状況である。
	小売業	電器	8月の販売は大変苦戦した。梅雨入りが早くまた8月中旬での大雨の影響でエアコンがまったく振るわなかった。特にエアコン・冷蔵庫の販売が苦戦した。また、オリンピック開催で4K・8K対応のテレビの販売に期待したが、前年は上回るが全体の販売を引き上げるまでではなかった。長引くコロナ禍の中、需要が大変厳しくなってきた。これまでテレワークや巣ごもりと新たな環境にも敏感に対応してきたが、そうした中で耐久品である主力家電商品で販売を引っ張ってきたが、ここに来て主力家電商品の販売苦戦が目立っている。他方、コロナ対策関連の空清関連商品もコロナ対応の助成金が終了すると結果伸び悩んだ。長引くコロナ禍の中で訪問活動を控えていることもあり、催事のあり方も変わってきている。催事に工夫と手間をかける店とそうでない店の販売格差が大きくなり、二極化が進んでいる。在庫は美需とのタイム差があるが全体としては増えつつある。長引くコロナ禍の中需要の低迷が厳しさを増し、今後の見通しは非常に厳しい状況が予想される。さらに店主の高齢化による販売ダウンが課題で、業界の中でも地域電器専門店はこの課題への対応・解決が大きな問題となっている。
		石油	7月に入り、高齢者向けの新型コロナウイルスのワクチン接種もりかなり進んで来ているが、新たにデルタ株という変異株が猛威を振るってきている。我々業界のサービスステーションスタッフはエッセンシャルワーカーとして、今日も全力で仕事に当たっている。不特定多数の顧客と接し、会話をしながら感染のリスクと日々隣り合わせの状況で働き続けている。エッセンシャルワーカーとは社会生活維持に欠かせない仕事につく人を指す。フルサービスサービスステーションはもちろんセルフサービスステーションでも、感染リスクは目前に存在する。しかし、スタッフたちを動かしているのはやはり生活を支える燃料油を届けたいという使命感にほかならない。業界関係者からは「こうした非常事態においてリスクを負いながら行う業務は称賛に値する」という声大きい。サービスステーションは政府の休業要請対象にはもちろん入らない。しかし、国民のライフラインを維持するための業種としての認知度は低い。こうした事態に悔しさを表すサービスステーションスタッフの声もある。
		スポーツ	国民体育大会が中止になり、その後の始末に追われている。困るのは各市町に売店出店料として支払いをしていた分がかなりあり、間違いなく返金されると思われるが、書類を出すように連絡があったり、振込先の銀行口座に連絡をする等、大変である。それと大会が行われていたら県・市町より間違いなく買い上げてもらったと思われる大会仕様の備品・消耗品の返品がある。受け取れない物もあるが、ボール類、テーピング等の消耗品は受けざるを得ないので困っている。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
商店街	熊野市	感染拡大の影響により、今年も帰省客や観光客の入込は減少。ただ昨年ほどの減少幅は少なく感じた。花火をはじめとする夏のイベント等が2年続けて無くなった影響は相当大きく、協力金が出ない飲食店以外の業種の疲弊は相当進んでいる。
	旅館	今年の夏は昨年のように「GOTOトラベルキャンペーン」は無かったが、「三重県民割」を利用されるお客様が多く、昨年を上回る結果となった。県内のお客様と県外のお客様で半々の割合で、通常年の夏のような賑わいであった。しかし、8月12日に「三重県民割」の中止が発表されたため、その後の予約はブレーキがかかり、後半の予約が伸びなかった。それでも昨年よりは少し良いくらいの成績だった。通常年の30%減程度と思われる。
サービス業	測量	伊勢地域においても、コロナ感染者が増えつつあり、仕事の行動範囲が少し規制されつつある。
	警備	昨年同様、コロナのためイベントが中止となり、前年度と同様の売上高となった。当分コロナのため、イベント中止が相続き受注増は見込めない。
建設業	内装工事業	8月はお盆休みもあり、例年売上は落ち込むところが、今年は増加となった。これは7月同様前年同月の値が低いこともあるが、今後コロナの影響で減少に転じると思われる。
	水道工事業 (亀山)	引き続き資材の入手が困難となっている。価格も上昇傾向である。
運輸業	トラック	燃料価格は先月に比べ若干値下がり傾向にある。電子部品、デバイス関連の輸送は好調を維持している。化学、プラスチック関連の輸送は先月に比べ減少気味となったが、前年同月と比べ増加となっている。自動車関連の輸送は半導体不良による影響が続いており依然厳しい状況である。スーパー関連の輸送は先月に続き減少している。住宅関連の輸送は好調を維持する結果となった。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	また集合体の行事が再開されたら順次行っていきたくと考えている。また情報提供をお願いしたい。
繊維工業	衣料縫製	飲食・宿泊業界も大変だが、その次にアパレル業界が苦境であるにも関わらず支援策が無いので何か考えてほしい。
一般機器	四日市	政治不在の我が国は、国民一人一人が規則を守り、努力を続けて、何とか生活を維持している。経済対策に多くの予算をつけてほしい。
サービス業	旅館	非常事態宣言下にあつて、開店休業状態が続いている。その上「三重とこわか国体」の延期により、国体関係の売上は0となってしまい、9月末の資金繰りがひっ迫している。先日の知事陳情でお願いしているように信用保証協会の保証枠を拡大し、月末にはニューマネーが届くように切にお願いしたい。
	測量	後見人を育ててもらいたい。組合の緩やかな成長を望んでいる。